

栃木県小学校長会中央研究大会

大会主題 「学校力を高め、信頼される学校づくりの充実・深化を図る」

研修部長 小 牧 明 弘

平成二十四年度の中央研究大会は七月五日(木)に栃木県総合教育センターで開催された。

一 開会

○開会の言葉

滝原 一夫 副会長

○会長あいさつ

高梨 敏朗 会長

○来賓あいさつ

古澤 利通 県教育長

二 研究発表1

◇研究テーマ

「学校力を高める教師の指導力・組織力の向上」

◇発表者

益子町立七井小学校長

濱澤 徹 先生

真岡市立中村小学校長

国府田 守 先生

◇発表内容

1 はじめに

人間力の豊かな育成とは、今後子どもたちが社会人として成長していく上で不可欠な

経営参画意識を高める。
・ 家庭・地域との連携体制を確立する。

②実践例(一部略)

ア教育目標・学校経営方針・努力点・目指す児童像の明確化と周知徹底
・ 教職員と保護者の願いを加味した目指す児童像の共通理解を図るためのグランドデザインを作成する。

イ学校運営組織を組織として機能させることによる活性化
・ ミドルリーダーの育成に努める。

ウ校内研修の充実と授業力の向上
・ 相互授業参観やワークショップ型の校内研修を取り入れる。

エ教職員評価を活用しての資質・能力の向上
・ 中間面談を活用し、意欲の持続と自己教育力の向上につなげていくことが重要で、良さや頑張りを認める。

オ協働意識や同僚性の育成と経営参画意識の向上
・ 学校を運営する上での具

体策について、学校評価を基に各主任を中心に全

職員で検討していく。
・ 家庭・地域との連携体制の確立
・ 情報を積極的に発信していく。

3 まとめと課題

①学校力を高めていこうとする意識の向上
②協働体制や同僚性が構築され指導力向上
③より実効性のある授業研究の実施

④自信ややりがいをもてる職務への取組
⑤個性を生かした組織づくりの必要性

⑥教頭・教務との連携、研修時間の確保、自己研さん意欲の育成の必要性

三 研究発表2

◇研究テーマ

「教職員人事評価を生かした学校経営」

◇発表者

日光市立鬼怒川小学校長

加藤 道弘 先生

◇発表内容

1 はじめに

学校が向き合うべき課題は、多種多様で幅広く、対応が難しい。課題に適切に対応し、子どもたちに「生きる力」を育むためには、教職員の資質・能力や勤務

意欲の向上と学校組織の活性化が必要である。教職員評価を生かした学校経営の推進につき、本市校長会小学校部会において研究を進めることにした。

2 研究の概要

①研究の方法(一部略)
アこれまでの取組の検討
イ実施上の課題の解決
右の2つの方法で研究を進めてきた。

②教職員評価制度を学校経営に生かす校長の取組の実際
ア自己目標作成に向けて学校経営方針等周知
・ 学校経営方針や努力点を周知し、自己目標作成に生かすとともに校務分掌で具現化できるよう指導する。

・ 校務分掌規定を周知し、職務内容・担当を明確にして活躍しやすい環境を整備する。

イ当初面談での学校経営への協力量と勤務意欲の高揚
・ 期待や職務の意義、全校をリードする必要性、やりがい等について説明し意欲の高揚を図る。

・ 学校経営方針や努力点が、